

平成 23 年 2 月 14 日

株式会社林原 並びに
株式会社林原生物化学研究所
代表取締役社長 福田恵温 殿

保全管理人
弁護士 松嶋英機 殿

一般社団法人日本地質学会
会長 宮下純夫



林原生物化学研究所の地質学・古生物学研究に関する要望書

株式会社林原生物化学研究所古生物学研究センターは、モンゴルにおける恐竜化石発掘とその研究を中心に、恐竜の生態や進化、その行動様式、当時の地質環境などを探る研究を展開してきており、その研究成果は本学会においても多数の学術論文や学術講演として発表され、地質学・古生物学の進歩に貢献してきました。また、それらの研究成果は本学会を含む様々な会場での展覧会や講演会を通じて広く一般に普及され、好評のうちに我が国の科学教育に貢献してきました。一方、本学会は 2009 年にモンゴル地質学会と学術交流協定を締結し、その後も活発な学術交流を続けていますが、その背景には貴研究所がモンゴルにおける 20 年以上の研究活動の中で築き上げてきた両国関係者の信頼関係があります。

新聞報道やウェブ上の情報によると、この度の貴社グループの経営破綻により会社更生法が適用され、貴研究所の従来のような研究・教育活動の継続が危ぶまれる事態になっているように思われます。本学会としては、本学会会員を含む貴研究所職員の今後の研究・教育活動の継続と研究・技術レベルの維持、貴研究所に所蔵されている多数の貴重な化石標本や文献などの管理、ならびにモンゴルの関係者との学術的な協力関係の維持について、大変憂慮しております。

日本地質学会としては、これらの問題について関係者および関係機関が適切に対応され、今回の経営破綻の処理において、日本の自然科学の発展と国際的な学術協力関係に悪影響が及ぶことがないようにご尽力いただきたく、よろしくごお願い申し上げます。

以上